



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行

志津南地区自治連合会

連絡先

志津南市民センター

563-6206

第2回まちづくり協設立準備会開く



委員長に粕谷氏、副委員長は3人

継続性、福祉・防災面を重視

同準備会については、2月26日に開催された市長トークで市から新しい住民自治制度としての「まちづくり協議会」の仕組みが示されたのを受け、同日、第1回準備会を開

新しい自治組織への移行を検討するまちづくり協議会設立準備会の第2回会合が4月24日、志津南市民センターで開かれまし

ました。しかし、この日は平成23年度自治連合会執行部発足前ということもあって、暫定的に委員長、副委員長を決めただけで本格的

協働合校・わんぱくが初会合

新役員、事業計画など決める

志津南地区地域協働合校推進委員会は5月9日、わんぱくプ

ラサ南っ子実行委員会と合同で今年度第1回合同委員会を開催し

平成22年度の事業、決算報告に

ついて、平成23年度の役員を選出しました。今年度事業の基本方針として『子どもと大人の協働「共育ち」を地域協働合校、わんぱくプ

な準備会活動は新年度に持ち越されていきました。

この日開かれた同設立準備会では、平成23年度委員の中から互選により新しい委員長、副委員長を選出しました。選出に際しては、昨年からの流れを切るべきではない「まちづくりに密接な関係があり、まちづくりに重要な分野となる福祉と防災を担当する組織からは参画すべきである」などさまざまな意見が出されました。

その結果、準備会委員長には、前年度に引き続き粕谷利光自治連副会長、副委員長に中原勝一自治連副会長、小野栄祐社会福祉協議会会長、斉藤智久自主防災連絡会会長の3氏が選出されました。今後は、志津南地区まちづくり協議会の設立について、そのあり方や方向性など準備会として検討していくことになりました。

アナログTV 15年までOK



テレビのアナログ放送が今年の7月24日で終了、以降はデジタル放送が受信可能なテレビに切り替える必要がある旨、テレビなどで盛んにPRされています。

しかし、グリーンヒルにお住まいの方はZTVの有線で受信しており、同TVが総務省の方針に基づき、地上デジタル放送をアナログ方式に変換して配信するため、2015年3月までは何もしなくても引き続きアナログテレビで受信が可能です。ビデオデッキを今までと同じように使うことができます。

ただし、データ放送、電子番組表、字幕放送などは利用できなくなるなど一部制約があります。

詳しくはZTVグリーンヒル営業所にお問い合わせください。

義援金

52万円余被災地へ



市内の公共施設で東日本大震災義援金の受け付けが行われて

いますが、志津南市民センターで受け付けた義援金は4月15日現在で五十二万三千四百六十円に達しました。

義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地の復興支援に役立てられます。ご協力ありがとうございました。引き続き、募金箱「写真」を志津南市民センター受付に設置していますのでご協力よろしく願います。

電話(569)5040
営業時間は9時から5時半まで
日・月・祝日は定休です。

- ▽11月 館外研修(自然体験教室)
- ▽2月 もちつき大会
- ▽7月 夏まつりに参加しよう
- ▽8月 南っ子宿泊体験
- ▽10月 館外研修(場所未定)

- ▽11月 館外研修(自然体験教室)
- ▽2月 もちつき大会
- ▽7月 夏まつりに参加しよう
- ▽8月 南っ子宿泊体験
- ▽10月 館外研修(場所未定)

- 谷口 賢
- 橋川 礼子
- 丸山 和子
- 吉永 行夫
- 高岡 昭義
- 奥田 隆三
- 萩原 常雄
- 垣根 和子
- 山崎 賢
- 佐田 里美

平成22年度収支決算報告

歳入の部	決算金額
繰越金	234,100
会費	450,500
草津市社協補助金	1,039,460
自治連助成金	170,000
賛助会費&雑収入	94,877
合計	1,988,937

歳出の部	決算金額
市社協分担金	134,100
草津市社協補助金事業	1,041,559
高齢者仲間づくり事業	105,000
高齢者健康維持事業	60,000
子どもと高齢者のふれあい事業	33,450
子育て支援事業	148,482
敬老会助成金	194,763
ボランティア活動	55,497
夏まつり参加費	30,900
合計	1,803,751
次期繰越金	185,186
総合計	1,988,937



志津南地区社会福祉協議会は4月17日、志津南市民センター

社協23年度総会開催 福祉委員制度を創設 新会長に小野さん再選

で平成23年度総会を開き、22年度の事業と決算報告を承認、再選された小野栄祐会長ら新執行委員を選出しました。写真。

総会ではこのあと、今年度の目標に掲げている「住民がお互いに助け合って暮らせる福祉のまちづくり」、「安心して暮らせる地域づくり」を効果的に推進していくため、地域における見守り活動が必要かつ重要であるとの観点から新たに福祉委員制度を創設、一層、地域に密着した活動を行う体制を整えました。今年度の主な事業計画(骨子)と新役員は次の通りです。

- 事業計画
 - ▽住民福祉活動計画推進事業
 - 事務局運営、地域住民福祉生活計画の推進、ボランティア保険
 - ▽福祉の土壌づくり事業
 - 福祉懇談会、福祉活動研修、災害時避難要援護者支援プランの支援、広報発行(志津南ニュースに掲載)、福祉講座とレクリエーション
 - ▽活動の担い手づくり
 - 福祉委員活動の支援、地域の支え合い体制づくり事業、老人クラブ参加者拡大
 - ▽個別援助活動事業
 - 高齢者向け料理教室、心身障害児ふれあい交流、一人暮らし高齢者との昼食会、ふれあい喫茶その他
 - ▽高齢者の支援
 - ▽子育て支援
 - ▽個別活動支援
- 役員
 - ▽会長(兼企画委員長・事務局長) 小野 栄祐
 - ▽副会長 小松原幸助
 - ▽副会長(兼福祉活動計画推進委員長) 上田 恒章
 - ▽会計 村井由美子
 - ▽福祉部会長 和田 基
 - ▽顧問 杉田 友春
 - ▽監事 大上 勝彦
 - ▽監事 江口 孝

春の一日、舟遊び楽しむ

ボランティアグループ泉は4月15日、高齢者とのふれあい交流バスツアーを実施、石山寺港から琵琶湖へと瀬田川リバー旅を楽しみました。



石山寺山門前で記念写真

花曇りながらもうらかなこの日、参加者31人の笑顔とともに市民センターを出発し、ほどなくバスは石山寺山門に到着。「わあきれい」と弾けるような第一声。桜花爛漫、時折吹く風に舞い散る花吹雪、歩道は薄ピンクの花絨毯(じゅうたん)。しばらく桜に酔いしれたあと、いよいよ石山寺棧橋よりレトロな可愛らしい外輪汽船「一番丸」に乗船し瀬田川を上り琵琶湖へとリバークルーズです。

軽快なエンジン音と共に船は兩岸の満開の桜を眺めつつ穏や

りょうぶの道でお花見

志津南地区社会福祉協議会、ボランティア部環境美化グループの7人が4月16日、牟礼山りょうぶの道入り口付近を清掃したあと、花見を楽しみました。

上り口に沿って咲く満開の桜が風で花吹雪となり、たちまち散り敷く花びらや溝にたまった落ち葉を取り除きました。さっぱりさせたあととは花見、おしゃべりに花を咲かせました。

また、この牟礼山に希少なササユリが芽を出しています。ササユリは「里山にそそぐ風が好き」と



新芽を出したササユリ

言われています。昨年のように折られることなく6月には上品な花を見たいものです。若草のササユリとして大切にしましょう。

かな水面を進みます。瀬田の唐橋にまつわる俵藤太のムカデ(大蛇)退治、近江八景など、巧みなガイドさんの歴史話を耳を傾けるうち、いつのまにか船は近江大橋近くまで。

湖面にはたくさんの水鳥たちが波のまにまにのんびりと遊ぶかわらでは瀬田名物のシジミ漁の船も。また滑るように漕ぐ8人乗りカッター練習中の学生たち、豊富な水のめぐみを感じつつ、はるか比良連邦をのぞみながら船はウターン、1時間の船旅を終え石山寺港へ。下船後は美味しい昼食タイム、そしてお腹も桜にも満足しお土産を買い込み早めの帰途に着きました。

(ボランティアグループ泉)

こよみ

- 5月20日(金)
 - ★ふれあい昼食会
12:00～13:00 ボランティア「泉」
 - 5月21日(土)
 - ☆健推はつらつウォーキング
9:30～14:30
 - ☆健康ウォーキング
8:15 若草中央公園集合
 - 5月24日(火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
10:00～11:30
 - 5月28日(土)
 - ☆社会奉仕
8:30 若草中央公園集合
 - 6月2日(木)
 - ★高齢者つどい推進事業
パソコンとなかよく！
10:00～12:00
 - 6月3日(金)
 - ★ふれあい昼食会
12:00～13:00 ボランティア「泉」
 - 6月4日(土)
 - ☆健康ウォーキング
8:15 若草中央公園集合
 - 6月9日(木)
 - ★高齢者つどい推進事業
パソコンとなかよく！
10:00～12:00
 - 6月11日(土)
 - ☆わんぱくプラザ南っ子
ホタルに会いに行こう
18:30～20:30
 - 6月14日(火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
10:00～11:30
 - 毎週金曜日 ふれあい喫茶(お茶の間)
10:00～11:30 若草第五集会所
-
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

らんまんの春 胸ときめかせ入学入園

春四月、志津南小学校、若草くるみ保育園、高穂中学校でそれぞれ入学・入園式が行われ新一年生、入園児が胸をときめかせて校門をくぐりました。志津南小は77人が入学、昨年より1学級増え3学級に。高穂中は全校生徒が764人となり大規模校に。またくるみ保育園は29人が集団生活をスタートさせました。

志津南小で入学式

77人入学で3学級に



志津南小の入学式

志津南小学校の第25回入学式が4月11日、同校体育館で行われ、優しい春の光が迎える中、



橋川校長から教科書を贈られる一年生

ぴかぴかのランドセルを背に新入生77人はちよっぴり緊張した面持ちで校門をくぐりました。1年生は昨年より1クラス増え3学級となりました。大きな拍手で迎えられた新

一年生は全員が優しく見守る中、担任から名前を読み上げられると「ハイ」と元気よく立ち上がりました。

橋川礼子校長は式辞で「さらさらかがやくみなさんの瞳が素敵です」「あいさつは魔法の言葉、言った人も言われた人もうれしい気持ちになります。人と仲良くなれる、心に届く贈り物です。進んであいさつしましょう」と語りかけました。

また、保護者に対しては「心豊かに、未来を拓く力の自己育成を図る教育の推進をめざします」と約束、同時に家庭力への期待をいたしました。

このあと、新一年生代表3人がまたらしい教科書を授与され、在校生から「くじけそうになったときはささえてあげるよ」と心強い歌のプレゼントがありました。

高穂中でも入学式

全校764人で大規模校に

高穂中学校(北川健校長)でも同日午後、第28回の入学式が行われ、248人が真新しい制服姿で中学校生活をスタートさせました。全校生徒が764人となり大規模校(750人以上)となりました。

春雪舞う中入園式

若草くるみ保育園の入園式は4

喜田さんに感謝状



4月12日に開かれた「平成23年度草津市健康推進員連絡協議会総会」で、志津南地区の喜田久子

さん(若草7丁目)が草津市健康推進員連絡協議会会長から感謝状を授与されました。

喜田さんは10年にわたり地域の健康保持増進に貢献、現在の食育のリーダーとして活動されています。

月4日行われ、29人が集団生活の第一歩をスタートさせました。

緊張気味の保護者や園児の前に服部登志夫園長は「今日からくるみ保育園で元気いっぱい遊びましょう」とお祝いの言葉を贈りました。

在園児からは「チューリップ」「むすんでひらいて」などの歌のプレゼントがありました。

平成23年度各団体代表者

町並み保存委員会	星野 眞直
社会福祉協議会	小野 栄祐
体育振興会	吉永 行夫
人権教育推進協議会	村井 正行
青少年育成区民会議	小山美恵子
子ども会	北岡 七夏
老人クラブ若寿会	奥田 隆三
民生・児童委員協議会	松本 孝子
自主防災連絡会	齋藤 智久
健康推進員連絡協議会	蟹江久美子
交通安全会	大柴 尚史
草津・栗東交通安全協会	渡邊 安之
地域安全連絡協議会	中原 勝一
広報委員会	津田 英二

創立25年を祝う参加者



若寿会が創立25年

老人クラブ若寿会は4月9日志津南市民センターで平成23年度総会と若寿会創立25周年記念式典を行い、総会は平成22年度事業報告と決算、平成23年度役員、事業計画、予算各案が承認されました。

協力、地域のみなさんの支えにより25周年を迎えました。この伝統ある若寿会の先輩各位に感謝するとともに、これからも健康、友愛、奉仕の理念のもと頑張っていこうと誓い合いました。25周年記念事業の一環として、東日本大震災で被害に遭われた方々に対し、一日も早い復興を願う私たちの気持ちを伝えるため、若寿会から2万5千円、会員の募金2万5千円余りを義援

まちかどアングル

しだれ桜

若葉の季節に桜でもあるまいと言われそうだが、満開のさまが見事なのであえて紹介させていたたく。この一本の桜、「二重彼岸枝垂桜」(ひとえひがんだれざくら)といい、京都・円山公園の枝垂桜の孫にあたる。日本古来の桜の保存と研究に情熱を注ぐ桜博士、佐野藤右衛門さんが寄贈した。立命館大学の正門前にある。



金として贈りました。

ささやかですが、私たちの気持ちには必ず通じると思っています。「がんばれ日本」。

受講生募集



志津南市民センターは高齢者等つよい推進事業の一つとして「パソコンとなかよく!」講座を次の要領で募集します。

- ▽日時 ①6月2日(木) ②6月9日(木) ③6月16日(木)

▽内容 初心者向けワード、エクセル、インターネット

▽対象 志津南地区在住の60歳以上の方

▽受講料 3回計900円

▽場 所 志津南市民センター

「古今東西」も

教育文化講座「古今東西」の受講生を募集します。今年度のテーマは「近江の伝統産業今昔」で3回連続講座です。

東近江市へ近江上布と秦荘袖、正藍染め

▽第2回 9月7日(水)

高島市へ扇骨・扇子と和ろうそく

▽第3回 11月9日(水)

▽定員 25人

▽受講料 900円(受講料の)

折々の記

空前の惨事、東日本大地震の被災者のみなさんには心からお見舞い申し上げます。

絆

「おはようございます。こんにちは。こんばんは」のひと言が町内、隣近所の「絆」の密度を濃くし、ひいては、この積み重ねが災害の発生時に「助け合いの輪」の広がりにつながるものと思います。

以前から当地区でも災害時の対応について啓発活動が行われていますが、阪神大震災、そして今回の現実は今、振り返って本当に認識しているのかと私自身考えさせられています。

「絆」の始まりはこれかなと思いました。(若草の若老)

原稿募集

広報委員会では住民みなさんが日頃お感じになっているご意見、随想を広く募集しています。

どしどしお寄せ下さい。随想は紙上匿名可ですが、ご意見は実名とします。原稿は志津南市民センターまでお届け下さい。様式は問いません。